

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>抽出案件について</p> <p>1 香川県庁舎東館耐震改修工事 ・WTO 適用工事となっているが、WTO 適用の場合に、県として何か特別な措置があるのか。</p> <p>・入札参加資格要件の施工実績において、応札業者によって認定を受けた免震工法が異なるが、どのような工法でもよいのか。</p> <p>・技術提案評価項目のうち、環境対策や安全対策といった施工上、当然と思われる項目において評価が得られていない応札業者があるが、なぜか。</p> <p>2 中讃流域下水道 大東川浄化センター送風機設備改築工事（電気設備） ・入札参加資格に「中讃流域下水道 大東川浄化センター送風機設備改築工事（機械設備）の落札者でないこと。」と除外要件を設けているが、その理由は。</p> <p>3 県営大桑池耐震補強工事 ・指摘事項無し。</p> <p>4 豊島廃棄物等処理事業 汚染土壌の掘削・積替え・搬出等工事（第2工区） ・平面図において土壌試験中の箇所となっている部分が、現在施工中の箇所ということか。</p> <p>5 平成28年度県営住宅香川団地4号棟屋根防水改修工事 ・くじ引きとなっているが、どのような方法で行うのか。</p>	<p>・WTO 適用の場合は、入札参加資格要件に通常求めている事業所の所在地に関する要件を定められない等の規定があるため、そういった要件を設けていない。</p> <p>・施工実績については、基礎免震工事において認定等を受けた構造方法で一定以上のレベルを求めており、応札業者によって工法は異なるが、施工実績は満たしている。</p> <p>・当該項目における評価において、当然実施すべき一般的なレベルより高いレベルの技術提案を求めており、一般的な提案だったため評価されていない。</p> <p>・受注機会の確保の観点から、近接工事の施工者の除外要件を設けている。今回は、工種は異なるが、同一業者が両工事を受注することが可能だったため、除外要件を設けた。</p> <p>・土壌試験中の部分を全て掘削するわけではなく、基準値を超えている部分だけを掘削することになる。</p> <p>・電子入札システム上で恣意性が入らないように自動的に行うものであり、業者が応札時にシステムに入力した任意の数字をもとに、客観性を考慮した方法で行っている。</p>